
呼ばれしモノの名は

新戸克太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

呼ばれしモノの名は

【Nコード】

N8068C

【作者名】

新戸克太

【あらすじ】

モノをすべて擬人化し、人の名をつけるご主人。人間である私は、
一体。

チリンチリンと呼び鈴が鳴った。ご主人様のお目覚めだ。もちろん私はもう2時間も前から起きて、朝のすべての準備を整えている。寢室をノックし、恭しくお辞儀をして枕元へ。

「お早うございます。お目覚めはいかがでございますか」

「ああ、お早う。きょうはわりに気分がいいな。後で少し散歩でもしよう」

「それはそれは結構でございます」

「朝子は連れてきたか」

「はい、ここにお連れしてございます」

私は手に持った新聞の朝刊をご主人様に渡した。

「鏡子はどこにいる」

「はい、ここにおいでになります」

私は枕元にある老眼鏡をとって手渡した。ご主人様は眼鏡をかけると、ちよつと顔をしかめた。「やつぱり変だな。姉の方がどうも見づらくていかん。医者に連れていくべきかな」

姉というのは右目のレンズのこと。左目は妹である。

「ところできょうはブレディに会いたい。少しグラマーなのをな」

「はいかしこまりました」

ブレディとは洋風の朝食のことである。和風はタマ子とご主人様はおっしやる。

5分とかがからぬ早業で私はポリウムたっぶりの朝食を作り、寝室へ運ぶ。

「ピアスさまとチョッピーさまはこちらにおいでになります」

ピアスとチョッピーとはもちろんフォークとナイフのことである。

朝食が終わると、ご主人様は散歩に出ようとおっしやった。

「伸子はどうしている」

「はい、玄関でお待ちでございます」

玄関に出てこられたご主人様に杖を渡す。

「あゆみさま姉妹はこちらに控えておられます」

「ん、そうか」

ご主人様はその靴をお履きになり、あらかじめ用意しておいた芳枝姉妹を左右の手にはめられ、理佳さまをおかぶりになり、門口に立たれた。

「ではお気をつけて行ってらっしゃいませ」

「ん」

1時間ほど経って、ご主人様はお帰りになった。

「おい、爪楊枝はどこだ」と大きな声がする。私は慌てて玄関へ出た。

「はい、わたくしならここに」

ご主人様は安心したようにおっしゃった。

「なんだ、こんなところにあっただのか」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8068c/>

呼ばれしモノの名は

2011年1月27日04時41分発行